

◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

- 5日から6日にかけて、高気圧が日本付近を進む。この高気圧は8日にかけて千島の東へ進む。
- 6日から7日にかけて、低気圧が日本の南を北東に進む。この低気圧は9日にかけて日本の東へ進む。
- 7日から9日にかけて、別の高気圧が黄海から日本付近に進む。

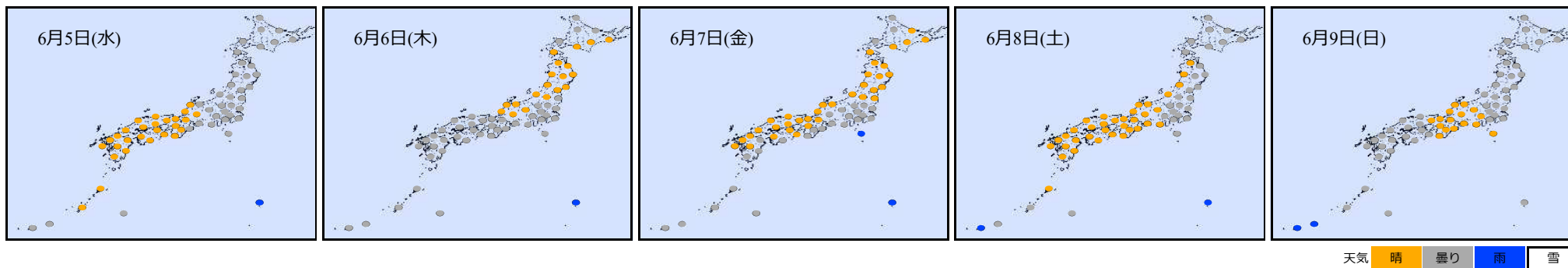
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 令和6年能登半島地震で揺れの大きかった地方は地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

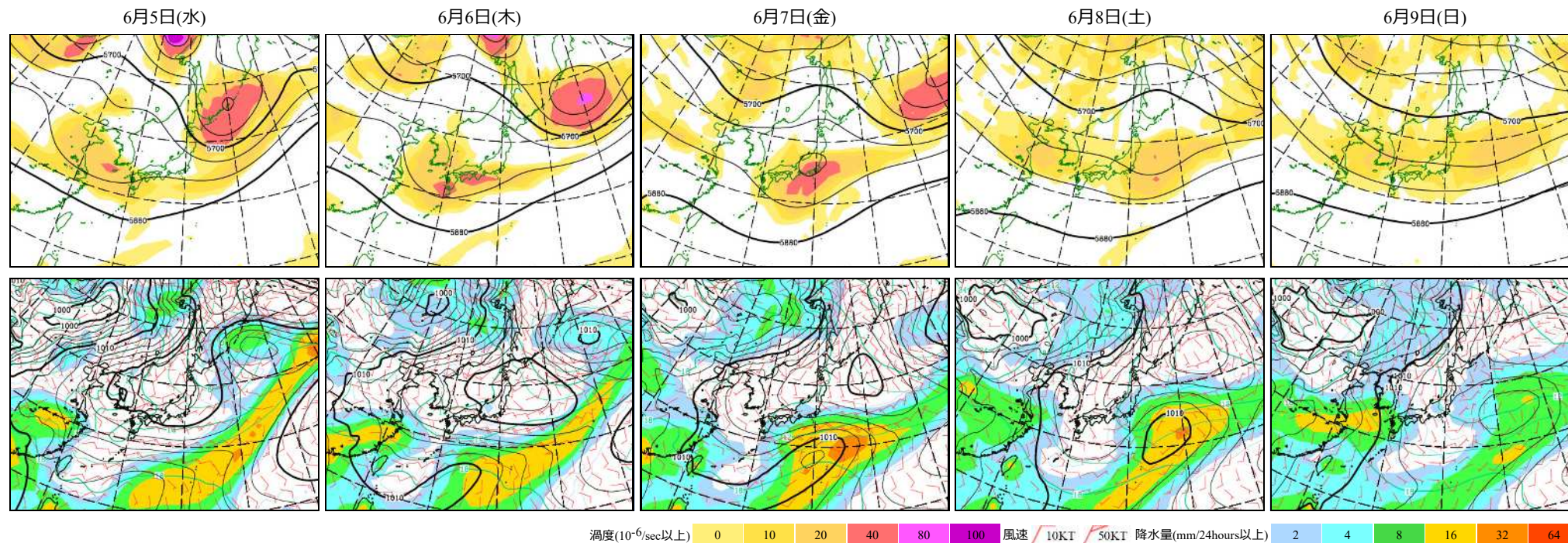
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

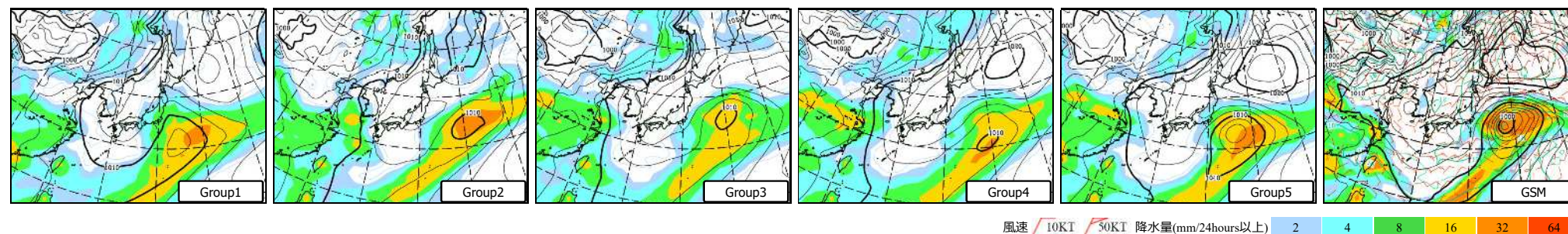


- 北日本と東日本は、曇りまたは晴れとなる。
- 西日本は、晴れまたは曇りとなる。
- 沖縄・奄美は、晴れる所もあるが雲が広がりやすく、雨の降る所もある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆6月8日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、大きな初期値変わりはない。7日に本州付近を進むトラフはやや浅くなった。地上の気圧配置の予想も大きな初期値変わりはない。
- 7日は寒気を伴ったトラフが日本付近に進む予想で各モデル揃ってきたが、その後のトラフの予想についてはモデル間に差がある。
- 8日の低気圧の位置は、GSM、ECM、NCEPの予想は比較的近い。ENSには各モデルに近い予想をするメンバーの他に関東地方により近い位置に低気圧を予想するメンバーも含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。
- 8日はトラフの予想に不確実性があり、北日本や東日本の予報が大きく変わる可能性もある点に留意。